

ハナミズキ の 育て方

ハナミズキ・・・和名：アメリカヤマボウシ
原産地：アメリカ東部、メキシコ北東部 落葉高木または低木。

■年間作業カレンダー

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|--------|----|---|---|-----|---|------|---|---|------|----|----|----|
| 生育サイクル | | | | 開花 | | 花芽分化 | | | | 紅葉 | | |
| 植えつけ | 落葉 | | | 寒冷地 | | | | | 果実成熟 | | 落葉 | |
| 剪定 | | | | | | | | | | | | |
| 肥料 | 元肥 | | | | | | | | | | | 元肥 |



桜と入れかわるように咲くハナミズキは明るく目をひく花で、家庭の庭で大変人気のある花木です。また、晩夏から初秋に色づく果実や、秋の紅葉を楽しむことができます

■品種

| 品種 | 花色(総苞) | 特徴 | 品種 | 花色(総苞) | 特徴 |
|------------|--------|--------------------------------------|-----------------|--------|---------------------------|
| 紅花ハナミズキ | 紅花系 | 実生で紅花が咲いたものを総称して言います。 | エディーズ・ホワイト・ワンダー | 白花系 | 極大輪種。 |
| チェロキー・チーフ | | 古くからあり、紅色が濃い紅花の代表種。 | アルパレナ ダブルホワイト | | 二重咲きで、八重ハナミズキで出回る場合もあります。 |
| ジュニア・ミス | | 紅花底白(中心に白いぼかし)の中輪種で、花付きが良く、鉢植にも向きます。 | ピグミー | | 矮性品種で鉢植向きです。 |
| レッド・ジャイアント | | 日本生まれで大輪の花を咲かせます。 | トリカラー | | 葉に白と黄色の斑が入ります。 |
| クラウド・ナイン | | 広弁の大輪種で、白花の代表種。花付きが良いです。 | レインボー | | 葉に黄色の斑が入ります。 |

■栽培条件

日本全国栽培は可能ですが、庭植えで楽しめるのは、北海道南部から中部くらいまでです。

庭植えの場合

■植え付け

植え付けの敵期は、落葉後の10月下旬～11月と2月下旬～3月です。
寒冷地は10月下旬に行ってもかまいませんが、根がよく張らないうちに冬になるので、春が良いでしょう。



穴を掘り、肥料を入れたのち土と混ぜます。そこに根鉢を少しくずした苗木を置きます。根と土の間に土を8～9割ほど入れたら水を与え棒でつつき馴染ませます。根が完全に隠れるように土をかぶせます。そして植え穴と同じ大きさに、水が流れ出さないように土を盛り水鉢を作り、水を与えます。水がひいたら支柱をたてます。

■肥料



冬期に、伸びている枝先の真下に深さ20cmほどの穴を数ヶ所掘り、堆肥と有機質肥料(牛糞や醗酵油かすなど)を適量施します。土はその後に埋め戻しましょう。冬期に元肥を施さなかった場合、花後に化成肥料を施します。

■剪枝・剪定



放任しても樹形は整いますので、庭のスペースがあるなら自然樹形で育てます。ただし、庭のスペースに合わせて小型にしたい場合は

- ・ 落葉後、見やすい高さで主幹の頂部を切りつめて止める
- ・ 込み合った枝、からみ枝、ひこばえ等の不要な枝を分岐点の上から切るようにします。

鉢植えの場合

■植え付け



鉢への植え付けや植え替えは、3月に行います。

■肥料と水やり



水やりは、夏は朝夕与えます。肥料は2月までに元肥として、骨粉入り醗酵済み油かすの固形を施します。花後にもお礼肥として、8月下旬～9月に元肥として同じ肥料を施します。